

真庭市議会議長 古南源二様

令和元年度 真庭市議会報告書・市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 原 秀 樹

開催日時	令和元年 7月 3日(水) 午後7時から午後8時30分		
開催学区名	落合小学校区(垂水向津矢住民会)		
会場名	落合総合センター		
出席議員	班長:原 秀樹 副班長:妹尾 智之 班員:大月 説子、緒形 尚、谷本 彰良、中元 唯資		
参加人数	37人 (うち議員6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
質問	○土嚢袋は、どこにあるのか	・各振興局が管理している	
質問	○真庭市議会議員の報酬について、何故この時期に話が出たのか。税金が厳しい中で、何故このタイミングで議員報酬がアップするのか。	・議員報酬は、報酬審議会で審議して戴いている。15市の中で真庭市が最低。昨年秋に市長に申し入れを行い報酬審議会で審査して戴き今年7月からアップとなる。 現在の報酬金額では、若い人が議員になっても生活できないため議員からアップを要望した。	
質問	○議員活動について 年4回の本会議以外は何をしているのか。報酬は、ある程度必要。30万円ではローンや子育ては出来ないのは判るが、本議会以外に出勤していないのであれば、ボーナスもいらぬのでは無いか。河川の状況、高齢者の意見を聴くなど地域に出向いてほしい。汗を流さない人は、辞退してほしい。	・本議会以外の時間は、常任委員会の開催、先進地視察また議員各位が地域に出て意見を聞き、振興局等に出向いて市民の方の意見や要望を伝えて改善策等を話し合っている。 ・地域によって意見や要望に差があるが、議員各位が改善の為に努力している。	
質問	○真庭市政策アドバイザーとはどういった人で、何人いるのか。	・政策アドバイザーは総合計画やSDGsを進めていくうえで外部の有識者(大学教授)等をお願いしている。具体的に人数等把握できていないので、後日ご報告を行う。	総務常任委員会へ
質問	○毎年前校長会をしている。教育の中で、各学校と地域がどのように繋がっていくかが大切。教育課程が変わる。教師の働き方改革が話題になっている。教員の悩みは多い。残業時間がオーバーとなっているのではないか。	・盆や正月等は、完全休業時間を設けている。中学校では、土日でも部活の為に出勤しているのが実際と聞いている。働き改革は進んで無いと思われる。 ・学力向上に向けて、地域と学校が連携して進める事を重視している。	

<p>質問</p>	<p>○中学生が下方木山鳥居から民家を通って通学している。子供が田んぼに落ちる事もある。危険な個所を何故通学しないといけないのか。アイム天満屋前国道に歩道が出来ていない所が、わずか10m程歩道をつけて国道を渡って、飯田歯科の方から通学出来ないか。中学校の聴く懇談会で発言したが、返事はまだである。</p>	<p>・通学路の選定は、学校長がしている。市・県に対して学校長・PTA・自治会長連名で要望書出して戴きたい。議会には、請願・陳情・要望等有るが、年4回の開催なので時間がかかり議論できないので遅れる。 ・教育委員会も生徒の安全確保について、3本柱を設け取り組んでいる。その中に通学路の点検がある。安全推進協議会が動いている。 ・県の方に確認して文章で返事をする。</p>	<p>産業建設 常任委員 会へ</p>
<p>質問</p>	<p>○「まにわくん」は、西河内がワースト2だから廃止にしたいと言う説明があった。住民は、大反対で今年での廃止は無くなった。 枝線に経費がかかると言う説明で有ったが、交通弱者に対しての思いやりが伝わらなかった。NPO法人にすれば補助金を出すとされた。交通弱者に対しての対応を検討して欲しい。</p>	<p>・枝線が、年間8,000万円の赤字と成っている。市は地域にNPO法人を作って対応してほしいと言うが、地域によって問題が異なる。全てを「まにわくん」で対応する事は難しい。他の市町村では、デマンド交通を行っているが、既存の運送業者との問題がある。赤字を続ける事も問題である為、皆さんのお知恵や意見をお聞きしたい。</p>	
<p>質問</p>	<p>○旧落合振興局の跡地利用について今年度測量、来年度法面を作ると説明を受けたが、それを待っていたのでは遅すぎる。街中再生について、地域住民は提案をしたが、落合振興局は「県の方針が出ないと・・・」と言う返事。一緒になって考えて欲しいと思っている。肩透かしを食わされている感じがしている。 ○我々もお金がかかる提言をしている訳ではない。 ○行政と住民会が噛み合っていないと思う。 大きな方向性の提言をしているのに、県からの方針待ちと。行政と地域住民が一緒になって考えて行きたいと思っている。</p>	<p>・振興局に依ると、県と協議中との事です。落合花火では、跡地を有効に活用すると聞いている。 住民の方々が何処まで関わり何処を行政に頼みたいのかなどをもう少し住民会で煮詰めていく必要が有ると感じる。全て行政に頼むのは難しい。 ・街中再生の中で、病院も移転するし、真庭高校も厳しい。街中再生の必要性は十分に理解するが、現状県を含めた全体の動きを見ながら進めるしかない。我々も落合振興局とも話をした。</p>	

<p>質問</p>	<p>○蒜山晴海プロジェクトについて 議員から反対討論は、無かったのか。 調査費についての議論は何故しな かったのか。論戦になる前で終わら ないように、議員はしっかり意見を 言うように。委員長報告に対して、討 論をするような議会運営をして欲し い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック、パラリ ンピック閉会後に隈研吾氏設 計の建物を真庭に持ってき て、蒜山の観光客を増やした と市長は、思っている。今年 度調査研究費をつけている。 調査費の予算については、 議員は賛成した。 ・産業建設委員会は、陳情書 の内容を継続審査にした。 ・議会広報 57 号に晴海プロジ ェクト特集を組む予定なの で、読んで戴きたい。 	
-----------	--	--	--

真庭市議会議長 古南源二様

令和元年度 真庭市議会報告書・市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 原 秀 樹

開催日時	令和元年 7月 4日(木) 午後7時から午後8時30分		
開催学区名	旧砦部・旧中津井小学校区		
会場名	北房文化センター2階研修室		
出席議員	班 長：原 秀樹 副班長：妹尾 智之 班 員：大月 説子、緒形 尚、谷本 彰良、中元 唯資		
参加人数	15 人 (うち議員6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
質問	○北房地区は、川幅は広いけど浅くなっていて際まで水が来ていた。どれ位迄の雨まで大丈夫なのか把握できているのか。10年も待てない。早急に対応して欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に県の管轄。浚渫については地域で、県・県民局に要望を出して下さい。 ・備中川の井堰は、10年かけて撤去する予定。 ・ご意見を県に伝えます。 	産業建設常任委員会へ
質問	○7月豪雨、公共債で直すのか。負担金の関係を教えて欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の金額が60万円以上か60万円未満で区別され、国の補助か市の単独事業化に分かれる。 ・農地関係は単独事業の場合負担金は、3%若しくは5%となり農林土木課で査定、振興局発注となる。 	
質問	○一般質問の達成率ほどの位か。議会だよりには、答弁で「検討する」が沢山出てくるが。	<ul style="list-style-type: none"> ・答弁は、市長の判断次第。議会だよりでは「検討します」を「やります」には変えれない。議員が提案した事でも、数か月後には執行部提案で実施される事がある。お金の掛からない事は「やります」お金の掛かることは「検討します」が多い。議会だよりでは文字制限もあり詳細を書くことが出来ない。 	
質問	○老人クラブの補助金はどうなっているのか。施設の管理で資金繰りが厳しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・真庭市老人クラブ連合会に拠出されている。連合会から各地区の老人クラブに配分されている為各地区への配分金額は判らない。 ・大規模修繕は真庭市。施設管理で使用料等は、収入として良いが補助金を飲食等に使うのはダメです。 ・真庭市の各地域では地域の施設管理は、コミュニティ協議会が行っており、北房地区のみ老人クラブが管理運営を 	

		<p>行っているのが現状と思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初予算では、老人クラブの活動費は 15,567,000 円計上されている。 	
質問	○老人クラブからコミュニティクラブに変えたらどうですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各老人クラブや市の方に提案していきます。 	
質問	○中津井地区には、下水道が1本も通ってない。	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道工事(農業集落排水事業)計画時に中津井地区は要望が無かったと聞いている。要望の無い地域は工事をしないとの事です。 	
質問	<p>○ジビエカー、移動図書館の稼働率の検証が必要。</p> <p>○まにわのシシが600万円は、無いのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山図書館等、高校生のなど来場者は増えている。 ・シシが600万円では無い。ごみ問題のビデオ制作等も含まれている。シシは良い宣伝になっている。 	
質問	○地域おこし協力隊は報酬に仕事内容が見合っているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・総務常任委員会に持ち帰って調査してみます。 	総務常任委員会へ
質問	<p>○人口対策について</p> <p>若者雇用と子供の手当てを増やす政策を望む。(子供に増やすべきと考える。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中で子供に増やすか老人に増やすかの選択になる。 ・ご要望を執行部に伝えておきます。 	

真庭市議会議長 古南源二様

令和元年度 真庭市議会報告書・市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 原 秀 樹

開催日時	令和元年 7月 5日(金) 午後7時から午後8時30分		
開催学区名	富原小学校区		
会場名	富原公民館		
出席議員	班 長：原 秀樹 副班長：妹尾 智之 班 員：大月 説子、緒形 尚、谷本 彰良、中元 唯資		
参加人数	17 人 (うち議員6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
質問	○田んぼの畦、河川の石垣が崩れている。修繕の進捗状況は。	・農業用施設に関しては、ほとんど発注済みです。業者も多数工事を抱えている為、生活に支障の有る箇所から取り掛かっている。	
要望	○避難場所について 富原小学校体育館に90名が避難した。年寄りには階段がきついでスロープを付けて欲しい。	・スロープについては、担当課へ伝える。	担当課へ
要望	○トイレの洋式化を希望する。	・学校のトイレは、順次洋式へ改装中です。	
要望	○狭い道路の歩道は草が生えていて歩きにくい。県への草刈りを要望する。 除草剤をまいて、蔦が枯れたままになっている。	・県道は県が順次発注。除草剤は一時しのぎで蔦を抑えていると思う ・歩道の草の件は、県に要望を伝える。	産業建設常任委員会へ
質問	○愛育委員・福祉委員をしているけど避難しても良いのか。	・警戒レベル3で高齢者等避難、声をかけて遠慮せず避難してください。命を守る行動を取ってください。地震の時、洪水の時何処に避難するのが良いのか事前に避難場所・避難所を決定しておき避難する事が重要。	
要望	○高度な医療機関でなくて良いので、富原に医療機関を設けて欲しい。	・現在600床程度のベッド数があるが、今後200床程度を減らす国・県の方針がある。真庭は広く、周辺部迄は、医療体制が十分に届かない。医師会の調査では70%ほどは訪問診療がと説いている状況。 ・開業医の先生も高齢化している。看護師も不足しているのが現状。今後の医療体制の検討が必要。	

要望	○国・県道の拡幅について 国道(慶州の所)の拡幅を早急にして欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の災害復旧等に予算が優先されているのでもう少し辛抱願いたい。 ・ 県が随時工事している。施工要領が有るので一気に進められない場合がある。 	
要望	○小中学校の給食費を無料にして欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費・水光熱費は市の負担。 食材費のみ保護者負担。来年度の会計から私会計から公会計に変更し、1食当たりの単価を統一します。ご意見として持ち帰ります。 ・ 10月から3歳～5歳迄の保育料が無償化になる等子育て支援が進んでいる。 	
質問	○特定検診を市外で受けられないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定検診は、真庭市の補助金が有るので市内でお願いしたい。 	
要望	○原子力の中止を	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原発や沖縄の基地の問題は、国政の問題なので早々に結論は出せない。 	
要望	○地元産の桧をもっと使って欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年北房小学校が開校した。県下最大の木造建築である。 ・ 構造材は、鉄骨やSRCであるが、内装は真庭産の木材をふんだんに使っている。 	
要望	○昨年の豪雨時に古呂々尾中で避難所を開設し8人避難した。食料の援助を要請したが富原小学校迄皆さんを連れてこいと言われた。地元の事が判る職員を配置して欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 局長と・課長については、地元の事が判る職員を配置している。 ・ 職員が、手が回らなくなっている。自主防災組織で補っていかうということ。 ・ 総務常任委員会で取りげて行く。 	
質問	○地区は13の大字と45の自治会がある。 半数は限界集落。市は今後自治会をどうしていこうと考えているのか。それぞれの地域の実情はどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湯原温泉地域では、12区を5区に自治会を再編した。向こう3軒両隣で助け合っていく体制にした。参考にして戴きたい。 	